**SDGs カード授業レポート**

【記入いただきたい内容】

１．氏名：

２．学校名；

３．対象学年（人数）：

４．児童・生徒の事前のSDGs認識：

５．実施した教科：

６．単元とねらい：

７．学習活動の流れ：（順をおって記述。発問や指導の留意点等も）

８．児童・生徒の反応：

９．今後SDGsカードを使う先生へのヒント：

１０．参考資料：

※お名前・学校名を非公開を希望の場合、その旨記載ください。

※授業に関する写真や授業で使ったスライドなども、公開可能な範囲で共有頂けると幸いです。

【記入例】

１．氏名：○○××

２．学校名：○○区立××中学校

３．対象学年（人数）：３年生（33人）

４．児童・生徒の事前のSDGs認識：

　1学期よりＳＤＧｓの学習をしている。17のゴールを暗記しているわけではないが、持続可能な社会のためには環境の視点や経済の視点、社会の視点など様々なゴールがあること理解している。

５．実施した教科：公民

６．単元とねらい：

「これからの経済と社会」、経済成長と環境保全の成立について、SDGsの視点にたって考えることで、多角的にとらえ、その中で自分にできることを考える

７．学習活動の流れ：（順をおって記述。発問や指導の留意点等も）

・自分あるいは保護者が洋服を買う時に特に重視しているのが次のうちのどの項目か手をあげ、クラス内のニーズを確かめる。

項目：見た目・値段・素材・メーカー・丈夫さ・生産国

・一枚の写真について、それがどこの地域のどのような状況だと思うかを考える。この写真とその背景情報をかいたプリント（別添）を読み、実はここは◆◆国で日本への衣料輸出のために、女性や子供が低賃金労働をしていることを知る。

**写真**

・（各班にSDGsカードと黄色の付箋を各班に配布）

5～6人一班に分かれる。まずはそれぞれで、プリントを読み、SDGsの視点でよい点、課題を考え、付箋に書く。その後、グループごとに意見を共有する。その際にSDGsカードに、それぞれが書き出した付箋を貼り（以下略）

８．児童・生徒の反応：

・冒頭、クラスの服を買う基準は、一番大事なのは丈夫さで、そこそこ値段もやすくて見た目が良い服が大事ということが分かった。それらの自分たちの何気ない選択が、他国の持続可能性と「国の成長」という面からも「女性・児童の低賃金労働」という面からもつながっていることが分かり（以下略）

９．今後SDGsカードを使う先生へのヒント：

　教材を大事に、綺麗に繰り返し使うことも、持続可能性につながる一歩だ、ということも教えられます。

１０．参考資料：

　○○書籍「＊＊＊＊＊」、○○ホームページ